

第5学年2組 国語科学習指導案

平成26年11月19日(水) 第5校時

場 所 5年2組 教室

授業者 阿部 渉

在籍児童数 男子22名 女子13名 計35名

1 単元名 物語を読んで、自分の考えをまとめよう

教材名 「わらぐつの中の神様」

2 本単元の意図

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく素直で、さまざまなことに前向きに取り組もうとする。5年生となり、新しく加わった教科の学習や生活環境にも慣れてきている。人前で発表したり自分の考えを文章に表したりすることを苦手とする児童もいるが、これまでの学習の積み重ねや、朝のスピーチを通し、自分の思いや考えを表現すること自体には慣れてきた。

「読むこと」に関しては、多くの児童が、朝の読書タイムに集中して読書したり、休み時間に自主的に「ふみくら(図書館)」に行っている。読む本の傾向を見ると、それぞれが自分の興味のある本を集中して読んでいる。

1学期の「のどがかわいた」の教材では、中心人物の変化をとらえるために物語の構成、変化をもたらした原因について考えながら読んだ。そして、登場人物の相互関係から、人物像やその役割をとらえ、行動や会話、情景から、心情について考え交流を行った。2学期の「大造じいさんとガン」では、「あらすじ」を書く活動を通して、大造じいさんの心情の変化や優れた叙述について自分の考えをもつ力を高めた。

(2) 育成する言語能力

本単元で育てたい能力は、「C読むこと」の「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」「カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと」である。そこで、「おすすめの本について、リーフレットにまとめて伝える言語活動」を設定し、読む力の定着を図りたい。

(3) 教材観

本単元は、祖母が孫に回想的に語り聞かせる「語りの文体」であり、「現在—過去—現在」という構想で、過去の内容も臨場感を感じながら読めるようになっている。

本単元で作成する推薦リーフレットを書くためには、「登場人物の変化をとらえながら読む力」は必要である。

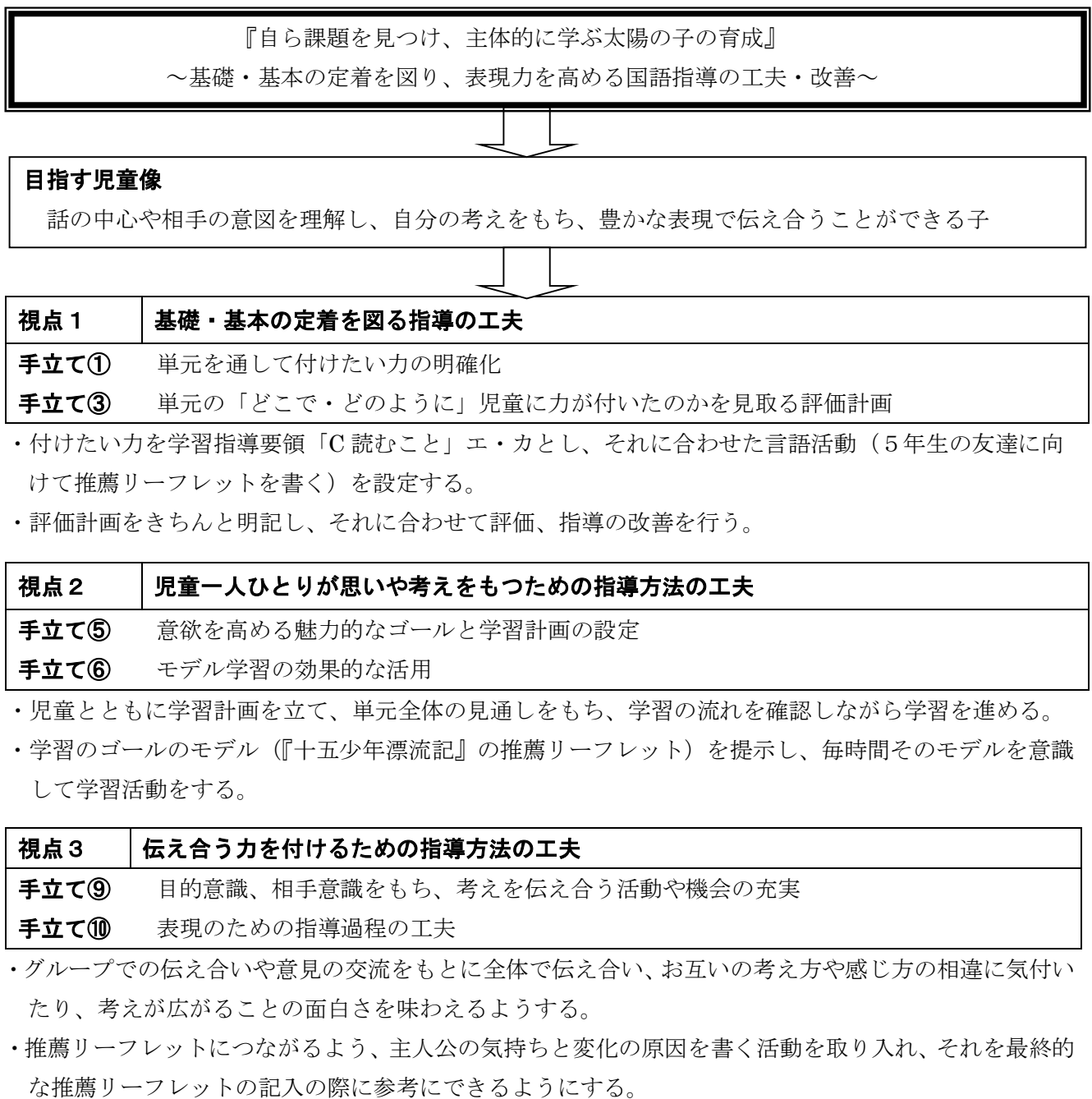
1次では、今までの読書生活を振り返り、教師の推薦する本についての話を聞く。「リーフレットでおすすめの本を伝えたい。」という児童の感想を取り上げ、学習課題を設定していく。「登場人物の変化をとらえながら読む」読み方を、2年生で学習した「お手紙」の教材を使って、学習する。

2次では、1次の学習を生かし、登場人物の変化をとらえながら「わらぐつの中の神様」を読む。

変化をもたらした「出来事」や「会話」について考え、物語を通して、作者の伝えたかったことについて考える。リーフレットのまとめ方について確認したあと、登場人物の変化をとらえながら読んだことをリーフレットにまとめていく。

3次では、読書記録や並行読書してきた中から、おすすめの本を決定する。これまでの学習を生かし、登場人物の変化をとらえながら読み、リーフレットにまとめ、「きみへのおすすめはこれだ！！リーフレットでおすすめの本を伝えよう！」発表会を行う。学習計画表やワークシートを見直し、この学習を通して身に付いた力を称賛し、今後の学習活動、日常生活に活かしていけるようにする。

3 研究内容との関連



視点 4	学校生活全体における言語環境の整備
手立て⑬	読書活動の推進
手立て⑮	言語環境の整備

- ・単元の学習に合わせて並行読書を行いやすいように、環境を整える。
- ・推薦の文章のモデルを掲示し、表現の工夫が意識しやすいようにする。

4 単元の目標

- (1) 目的に応じて、心情や場面についての様子をとらえ、自分の考えを明確にしなが、本を読もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 登場人物の心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。(読むこと)
- (3) 目的に応じて、複数の本を読むことができる。(読むこと)
- (4) 語感、言葉の使い方に対する感覚に関心をもつことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 読むこと	ウ 言語についての 知識・理解・技能
「おすすめの本について、リーフレットにまとめて伝える言語活動」を通した指導 ・学習指導要領との関連 「C 読むこと」の言語活動例 エ 本を読んで推薦の文章を書くこと		
① 目的に応じて、心情や場面についての描写をとらえ、自分の考えを明確にしなが、本を読もうとしている。	① 登場人物の心情や行動の変化について描写をとらえることができる。 ② 文学的な文章の主題について、自分の考えをまとめることができる。 ③ 目的に応じて複数の本を読むことができる。	① 表現を工夫し、その効果について考えることができる。

6 指導と評価の計画（全9時間扱い）

次	時	主な学習活動	学習内容	学習活動に即した評価規準と評価方法
1	1	<p>○今までの読書生活について振り返る。</p> <p>○教師の推薦する本について話を聞く。</p> <p>○学習課題を設定する。</p>	<p>・学習課題の設定</p>	<p>リーフレットでおすすめの本を伝えることに興味をもち、学習計画を立てている。</p> <p>アー①（観察・振り返り）</p>
	2	<p>○学習計画を立てる。</p>	<p>・学習計画の立て方</p>	
2	3	<p>○「おすすめの本を伝えるためには、どのような読み方をしたらいいのか」を知る。</p>		<p>「登場人物の変化をとらえながら読む」読み方を理解し、進んで読書しようとしている。</p> <p>アー①（ワークシート・振り返り）</p>
	4	<p>○「お手紙」で「登場人物の変化をとらえながら読む」読み方を確認する。</p> <p>※「リーフレットでおすすめの本を伝える」ために、並行読書を開始する。</p>	<p>・登場人物の変化</p> <p>・変化をとらえるための描写</p> <p>・自分の考えのまとめ方</p> <p>・目的に応じた読書</p>	
2	5	<p>○物語を通して、作者の伝えたかったことについて考える。</p>	<p>・自分の考えのまとめ方</p>	<p>登場人物の心情や行動の変化について描写をとらえることができる。イー①（観察・ワークシート）</p>
	4（本時）	<p>○変化をもたらした「出来事」や「会話」について考える。</p>	<p>・変化をとらえるための描写</p>	<p>登場人物の心情や行動の変化について描写をとらえることができる。イー①（観察・ワークシート）</p>
	5	<p>○物語を通して、作者の伝えたかったことについて考える。</p>	<p>・自分の考えのまとめ方</p>	<p>文学的な文章の主題について、自分の考えまとめることができる。</p> <p>イー②（観察・ワークシート）</p>

2	6	<p>○リーフレットのまとめ方について知る。</p> <p>○登場人物の変化をとらえながら読んだことをリーフレットにまとめる。</p> <p>○まとめたことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の効果の工夫 ・登場人物の変化 ・変化をとらえるための描写 ・自分の考えのまとめ方 ・表現の効果の工夫 	<p>表現を工夫し、その効果について考えることができる。</p> <p>ウー①（観察・ワークシート）</p>
3	7 8	<p>○読書記録（ブックリスト）を振り返り、おすすめの本を決定する。</p> <p>○「わらぐつの中の神様」の学習を生かし、登場人物の変化をとらえながら読む。</p> <p>○リーフレットにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた読書 ・登場人物の変化 ・変化をとらえるための描写 ・自分の考えのまとめ方 ・表現の効果の工夫 	<p>目的に応じて、複数の本を読むことができる。</p> <p>イー③（観察・ワークシート）</p> <p>登場人物の心情や行動の変化について描写をとらえることができる。イー①（観察・ワークシート）</p> <p>文学的な文章の主題について、自分の考えまとめることができる。</p> <p>イー②（観察・ワークシート）</p> <p>表現を工夫し、その効果について考えることができる。</p> <p>ウー①（観察・ワークシート）</p>
	9	<p>○「きみへのおすすめはこれだ！！リーフレットでおすすめの本を伝えよう！」発表会を行う。</p> <p>○学習を振り返り、感想を発表し、学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の変化 ・変化をとらえるための描写 ・自分の考えのまとめ方 ・表現の効果の工夫 	<p>目的に応じて、心情や場面についての描写をとらえ、自分の考えを明確にしなが、読んだ本についてリーフレットで伝えている。</p> <p>アー①（観察・振り返り）</p>

7 本時の学習指導（4／9時）

（1）本時の目標

登場人物の心情の変化について、その原因となる描写をとらえることができる。（読むこと）

（2）展開

学習活動	学習内容	指導・支援（○）と評価（◇）の創意工夫	時間
1 本時の学習課題を確認する。	・学習の進め方	○本時の学習に対する意欲が高まるように「登場人物の変化の原因について考えたい」ということが書かれた、前時も振り返りを讀んだり、相手意識、目的意識を確認したりする。 ○担任の作った推薦リーフレットや学習計画表を活用し、単元のゴールや本時の学習課題を確認する。	5
マサエの気持ちの変化をもたらした原因について考えよう。			
2 本時の流れを確認する。		○本時の学習の見通しがもてるように、前時で使ったワークシートや2時で学習した「お手紙」のワークシートを活用し、「登場人物の変化をとらえながら読む」読み方を確認する。	
3 マサエの気持ちの変化をもたらした原因について考える。	・登場人物の変化 ・変化をとらえるための描写	○「あらすじをまとめるために読む」のときのように、登場人物の行動や出来事に注目しながら、「変化をもたらした原因」について考えるように助言する。 ○変化をもたらした原因に関係がありそうな行動や会話には、青線を引くようにする。 ○原因について考えられない児童に関しては、「登場人物の変化をとらえながら読む」読み方を確認するために行った「お手紙」のワークシートを活用したり、「神様」という言葉を手掛かりにしたりし、参考に一緒に考えるようにする。 ○視覚的にも「登場人物の変化」と「変化をもたらした原因」について理解できるようなワークシートを用意する。 ○たくさんの考えを聞き「マサエの気持ちの変化をもたらした原因」について考えられるよう、伝え合うときの場の設定を工夫する。 ○グループの考えを黒板に掲示し、初めの自分の考えとグループの考え、他の考えを比べながら、「マサエの気持ちの変化をもたらした原因」について考える時間を設定することで、学習内容の定着を図る。	35

学習の進め方

- マサエの気持ちの変化をもたらした原因について、個人で考える。
- 考えたことをグループで伝えあう。
- グループの考えをまとめる。
- グループの考えを全体に伝えあう。
- マサエの気持ちの変化をもたらした原因について、個人で考える。

「場の設定」

		◇登場人物心情の変化について、その原因となる描写をとらえることができる。 イー①（観察・発言・ワークシート）	
4 本時の学習を振り返る。		○毎時間の振り返りの時間を十分確保し、学習計画表からも一人ひとりの学習の進み具合やつまづきを把握し、個に応じた支援をできるようにする。 ○次時学習に向け、意欲的に取り組もうとしている児童の振り返りを取り上げるようにし、全体の意欲を高められるようにする。	5

(3) 板書計画





「神様がいるかもしれないね。」^セ

セ	セ	セ	セ	セ
セ	セ	セ	セ	セ

「そんなの迷信でしょ、おばあちゃん。」^セ

【学習の振り返り】^セ

- 一 マサエの気持ちの変化をもたらした原因について、個人で考える。^セ
- 二 考えたことをグループで伝え合う。^セ
- 三 グループの考え方をまとめる。^セ
- 四 グループの考えを全体に伝え合う。^セ
- 五 マサエの気持ちの変化をもたらした原因について、個人で考える。^セ

マサエの気持ちの変化をもたらした原因について考えよう。^セ

わが国の中の神様 杉 みき子^セ

きみへのおすすめはこれだ^セ
リーフレットでおすすめの本を伝えよう^セ